

表 4.1.15 基本情報調査票の使用例 (5/5)

様式-2(3) 基本情報調査票 (3/5)

管理番号	
------	--

基本情報記録(杭工)

地すべり ブロック 情報	区域名(路線名等)		〇〇区域		管理機関名		△△県〇〇地方事務所			
	所在地	△△	都道府県	□□□	市区町村	〇〇〇町	北緯	3□.〇〇〇		
	地すべり ブロック名	A-3		施設名	抑止杭工		保全対象	耕地、道路		
	採用対策工 (数量)	抑制工		水抜きボーリング工		抑止工	抑止杭工(34本)			
	安全率の 設定と工種別 分担割合	①初期 安全率	②目標 安全率	工種	水抜きボーリング	抑止杭工				
	1.00	1.1	設定	0.03	0.07					
	②-①	0.10	割合	0.3	0.7					
工 法 ・ 設 計 情 報	設計	平成7 年度	設計者	△△(株)		施工	平成7 年度	施工者	△△△建設(株)	
	材質	STK400	外径	φ216.3mm		肉厚	4.5mm	全長	L=5.5~12.5m	
	許容応力度	短期 / 長期	(曲げ)	157N/mm ² (せん断)		88N/mm ²		設計荷重 (必要抑止力)	29.4kN/m	
	本数	34本	削孔径	250mm		杭頭変位置 (計算値)	不明	段数	1段	
	付帯 施設	アンカー工	有/無	工法名	—		取付位置 (杭頭からの距離)	—	設置角度	—
			本数	—	自由長	—	アンカー体長	—	反力体	—
		頭部連結工の有無	無 / 有	埋設深さ	0.5m					
	杭設置地盤	崩積土					不動層の 変形係数	98,100kN/m ²		
	種別	さび杭 / 補強杭 / せん断杭 / 抑え杭 / その他					準拠基準	地すべり鋼管杭設計要領		
	関 連 資 料	設計計算書	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	標準断面図	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	構造図	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし			
地盤調査記録 (調査報告書)		<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	設計条件記録 (設計報告書)	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	計測データ等 (観測報告書)	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし				
施工前 状況写真		<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	施工状況 写真	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	材料納品記録	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし				
履 歴 情 報	設置前被災	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	状況	昭和60年に、大規模な地すべりが発生し、農地が被災した。						
	設置後被災	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	状況							
	補修補強 (付帯施設を含む)	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	方法							
	杭変形量観測	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	状況							
	防錆処理	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	方法	中詰コンクリート						
特 記 事 項										
	資料照会先	△△県〇〇地方事務所								
作成日	平成28年3月17日			作成者	〇〇〇(株) □□□					

4.1.2 施設の補修履歴に関する情報の収集

補修履歴がある場合は、その要因とともに補修内容を記録する。

4.1.3 地域特性に関する情報の収集整理

設置箇所の気象状況に関する地域特性を把握することも有用である。さらに、設置箇所周辺の土地の利用形態等についての情報も可能な限り整理しておくことが望ましい。

4.1.4 基本的な情報の整理と活用

ここで整理された情報は、概査時の基礎資料となり、機能維持に関する課題や、異常が認められた場合の要因の推定に際して一つの判断材料となる。したがって、基本情報調査は少なくとも概査を実施する前までに行い、現地での着目点等を整理することで点検効率を向上させることが望ましい。概査時に健全性に対する評価を行う場合は、まず基本情報調査で整理された計画時の設計条件と、概査時に得られた情報について整合性を確認する。前回までの記録と何らかの相違が認められれば、その結果は健全性を判断する上で重要な材料となる。したがって、供用期間中の経年的変化の記録は、写真や簡易計測等により整理し、相互に比較できるよう、整理しておくことが望ましい。

ただし、「その他工種」は目視点検で施設の諸元がある程度確認できるため、施設管理者が独自に施設台帳等で基本情報を十分整理している場合には、あえて本手引き(暫定版)の様式(表 4.1.1～表 4.1.10)を使用する必要がない場合もある。また、ここで示す様式中の記述欄は様々な施設状態を記録できるように網羅的に作成されており、日常管理時および概査時までには必ずしも全てを埋める必要はない。これらは日常管理点検時や概査時などの機能診断サイクルを繰り返す中で、更新・蓄積させるものとする。

施設に対する機能診断の各段階の現地調査(日常管理、概査)において最低限必要とされる情報の優先順位の目安を以下に示す。

- 1) 管理情報：現地調査(日常管理、概査)時に必須の情報であり、施設名や管理機関名や保全対象などがこれに当たる。ただし、施設名等が存在しない場合、仮名を付けるなどして現地調査に向かうことも考えられる。
- 2) 位置情報：現地調査(日常管理、概査)時に必須の情報であり、地すべりブロック図上に施設の位置を示した図面等が点検者に提供されると、現地調査時に極めて有用な情報となる。また、位置情報が現地実態と比較して大きく異なるときは、記載情報を更新する。
- 3) 工法情報のうち施設諸元(高さや幅など)：概査時に変状の計測を行う際の比較対象となるため、概査までに把握することが望ましい情報である。現地実態と比較して大きく異なるならば、記載情報を更新をする。
- 4) その他の情報：適宜、情報収集・整理する。

管理番号	
------	--

基本情報記録(擁壁(柵)工)

地すべりブロック情報	区域名(路線名等)		管理機関名				
	所在地	都道府県	市区町村	北緯	東経		
	地すべりブロック名	施設名		保全対象			
	採用対策工(数量)	抑制工	抑止工				
安全率の設定と工種別分担割合	①初期安全率	②目標安全率	工種				
			設定				
	②-①		割合				
工法情報	設計	年度	設計者	施工	年度	施工者	
	種別	壁高		勾配(前面・背面)	延長		
	柵材材質	中詰材材質		天端幅	底幅		
	基礎地盤(摩擦抵抗)				許容支持力		
	背面地盤勾配						
	設置目的						
関連資料	設計計算書	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	標準断面図	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	構造図	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	
	地盤調査記録(調査報告書)	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	設計条件記録(設計報告書)	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	計測データ等(観測報告書)	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	
	施工前状況写真	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	施工状況写真	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	出来形資料	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	
履歴情報	設置前被災	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	状況				
	設置後被災	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	状況				
	補修補強(付帯施設を含む)	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	方法				
	変位量観測	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	状況				
	防錆処理	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	方法				
特記事項							
	資料照会先						
	作成日		作成者				

1) 管理情報

2) 位置情報

3) 工法情報のうち施設諸元(高さや幅など)

4) その他

図 4.1.2 現地調査時に最低限必要な基本情報調査項目の優先順位の例

4.2 施設の日常管理

4.2.1 基本事項

(1)目的

地すべり防止施設の日常管理（定期・臨時の巡視）では、施設の異常、経時的変化（老朽化）、明らかな危険状態の把握を行うことを目的とする。

(2)点検方法

日常管理は、施設周辺の遠望目視により行うことを基本とする。また、地震時や異常気象時における変状等の有無の確認も行い、緊急対応による二次的被害の防止に努める。日常管理にて異常を発見したら、追加調査（概査）の必要性の判断をする。

実施者は、通常、地すべり防止区域の管理者である道府県、あるいは道府県から委託された市町村、地元住民（施設管理者から委託された地すべり巡視員）等である。

点検に当たっては、施設周辺も含め、容易に視認できる顕著な変動を把握する。その際、できるだけ写真（可能な範囲で、全景と近景）を記録として残すことが望ましい。また、点検箇所の現在の状況と比較するために前回の点検記録を持っていくことが望ましい。判断の困難なものについては追加調査（概査）を提案する。

(3) 日常点検における点検時の注意事項

実際に点検を行うときは、巡視ルートから点検者自身の安全を確保しつつ、構造物の状態を観察する。特に地震や豪雨などの異常時点検では、斜面が不安定化している可能性もあるため、状況に応じて、斜面に近づきすぎないように留意する。

日常管理で確認できた異常については、ある程度の位置情報を付して記録し、情報の引き継ぎを容易にする。また、継続的に観察していく中で気になる点があれば、点検項目にない事象であっても記録として残す。点検には、必要に応じて双眼鏡などを活用するほか、カメラを携帯し異常の記録や施設の状態（全景・近景）を残すことを心がける。

施設によっては急斜面や植生などで位置確認の難しいこともあるため、位置図については事前に準備し、安全管理上無理のない範囲で目視する。現地にて発見できない施設や目視できる範囲まで近づくことが難しい施設については、無理せず、未発見や未到達の旨を点検票に記録として残す。その場合、後日、ルート等の準備を整えて再度点検を行うか、または、必要に応じて概査等を実施し、施設の状況を把握することが望ましい。

4.2.2 各施設の点検

構造物の点検に際しては、予め決められた点検様式を使用するなどして、明らかな異常の見落としがないように実施する。本手引き(暫定版)で提案する点検様式を表 4.2.1～表 4.2.14 に、使用例を表 4.2.15～表 4.2.22 に施設管理者版と巡視員版それぞれ示す。また、各工種の点検項目を表 4.2.23～表 4.2.28 に示す。

表 4.2.2 日常管理調査票施設管理者版様式 (2/2) 暗きょ工・明暗きょ工

様式-2(2)

位置図・写真(自由書式) 日常管理調査票(2/2)

点検年月日	天候	点検者
諸 元	区域名:	ブロック名:
	該当施設(施設番号):	暗きょ工・明暗きょ工()

(※2/2 の自由書式欄は以降の工種も同形式のため以下省略)

表 4.2.3 日常管理調査票施設管理者版様式 (1/2) 溪流護岸工

様式-2(1) 地すべり防止施設調査票 (溪流護岸工) 日常管理調査票(1/2)

点検年月日	天候	点検者	
諸元	区域名:	ブロック名:	施工年度:
該当施設(施設番号): 溪流護岸工()			
対象項目 (☑をチェック)	異常が見られる項目 (☑をチェック)	結果 (☑をチェック)	
溪流護岸工	①側壁護岸工 ・側壁護岸工の有無を確認 ☐あり ☐なし(見当たらない) ・種類を選んでください。 ☐コンクリート ☐籠枠等() ☐不明 ・材質や形状 ()	☐1.損壊(倒壊・ブロック等の脱落・中詰め材の流出等) ☐2.変形(沈下・傾き・継ぎ目のずれ・はらみ出し等) ☐3.破損(ひび割れ・摩耗・欠損・錆(腐食)等) ☐4.洗掘(側壁護岸工の基礎地盤付近)	☐異常なし ☐異常あり (箇所) 目視状況: ☐ほぼ全体が見える ☐部分的に見えず☐見えず
	②床固め工 ・床固め工の有無を確認 ☐あり ☐なし(見当たらない) ・種類を選んでください。 ☐コンクリート ☐籠枠等() ☐不明 ・材質や形状 ()	☐1.損壊(倒壊・ブロック等の脱落・中詰め材の流出等) ☐2.変形(沈下・傾き・継ぎ目のずれ・はらみ出し等) ☐3.破損(ひび割れ・摩耗・欠損・錆(腐食)等) ☐4.洗掘(側壁護岸工の基礎地盤付近)	☐異常なし ☐異常あり (箇所) 目視状況: ☐ほぼ全体が見える ☐部分的に見えず☐見えず
周辺状況	③基礎地盤	☐1.沈下・隆起 ☐2.洗掘	☐異常なし ☐異常あり (箇所) 目視状況: ☐ほぼ全体が見える ☐部分的に見えず☐見えず
	④周辺の状況	☐1.施設背面の変状 (吸出し・陥没・侵食・湧水・崩落・押し出し・亀裂等) ☐2.構造物背面のすきま	☐異常なし ☐異常あり (箇所) 目視状況: ☐ほぼ全体が見える ☐部分的に見えず☐見えず
・各項目および周辺状況で気づいた点があれば、記入ください(自由記入)		・施設全体の概略図を描き、異常のある位置を示してください。 (紙面不足の場合、別添 様式-2(2)に記載してください。)	

※位置図や写真は別添に記載してください

評価	1.追加調査が必要	2.補修が必要	3.点検を継続
<p>溪流護岸工の概略構造</p> <p>※形状や材質は色々な種類があります</p> <p>溪流護岸工は、側方侵食の激しい溪流などにより地すべり末端部や側方が侵食されている場合に、その侵食を防止する目的で施工される施設です。</p>			

表 4.2.4 日常管理調査票施設管理者版様式 (1/2) 堰堤工

様式-1(1) 地すべり防止施設調査票(堰堤工) 日常管理調査票(1/2)

点検年月日	天候	点検者	
諸元	区域名:	ブロック名:	施工年度:
元	該当施設(施設番号): 堰堤工()		
対象項目(☑をチェック)	異常が見られる項目(☑をチェック)	結果(☑をチェック)	
堰堤工	①本体・袖 (本堤、副堤、垂直壁を含む) ・堰堤工の有無を確認 □あり □なし(見当たらない) ・種類を選んでください。 □コンクリート □鋼製枠 ・材質や形状 ()	□1.損壊(倒壊・中詰め材の流出等) □2.変形(沈下・傾き・継ぎ目のずれ・はらみ出し等) □3.破損(ひび割れ・天端の摩耗・欠損・錆(腐食)等) □4.漏水	□異常なし □異常あり (箇所) 目視状況: □ほぼ全体が見える □部分的に見えず□見えず
	②側壁護岸 ・側壁護岸の有無を確認 □あり □なし(見当たらない)	□1.損壊(倒壊・ブロック等の脱落・中詰め材の流出等) □2.変形(沈下・傾き・継ぎ目のずれ・はらみ出し等) □3.破損(ひび割れ・摩耗・欠損・錆(腐食)等)	□異常なし □異常あり (箇所) 目視状況: □ほぼ全体が見える □部分的に見えず□見えず
	③水叩き ・水叩きの有無を確認 □あり □なし(見当たらない)	□1.摩耗 □2.ひび割れ	□異常なし □異常あり (箇所) 目視状況: □ほぼ全体が見える □部分的に見えず□見えず
周辺状況	④本体周辺状況	□1.基礎地盤の洗掘 □2.袖部の侵食・崩壊	□異常なし □異常あり (箇所) 目視状況: □ほぼ全体が見える □部分的に見えず□見えず
	⑤側壁護岸周辺状況	□1.基礎地盤の洗掘 □2.施設背面の変状(吸出し・陥没・侵食・湧水等) □3.構造物背面のすきま	□異常なし □異常あり (箇所) 目視状況: □ほぼ全体が見える □部分的に見えず□見えず
・堰堤工上流側の堆砂状況: 満砂 / 未満砂 (未満砂の場合、もしくは、その他気づいたことがあれば、堆砂状況について記入してください)			
・各項目および周辺状況で気づいた点があれば記入ください(自由記入)		・施設全体の概略図を描き、異常のある位置を示してください。 (紙面不足の場合、別添 様式-2(2)に記載してください。)	

※位置図や写真は別添に記載してください

評価	1.追加調査が必要	2.補修が必要	3.点検を継続
<p>堰堤工の概略構造 ※形状や材質は色々な種類があります</p>	<p>堰堤工は、溪流内に設置され、堆砂によって地すべり末端部の侵食防止と地すべりに対する押え盛土工の役目を果たす施設です。</p>		<p>※上流側へ向かって堰堤工をみる</p>

表 4.2.6 日常管理調査票施設管理者版様式 (1/2) 擁壁(枠)工

様式-2(1) 地すべり防止施設調査票(擁壁(枠)工) 日常管理調査票(1/2)

点検年月日		天候	点検者
諸 元	区域名:	ブロック名:	施工年度:
	該当施設(施設番号): 擁壁(枠)工()		
対象項目 (☑をチェック)		異常が見られる項目 (☑をチェック)	結果 (☑をチェック)
擁 壁 (枠) 工	①本体 ・擁壁(枠)工の有無を確認 □あり □なし(見当たらない) ・種類を選んでください。 □コンクリート擁壁工 (コンクリートブロック積みを含む) □枠工() □不明 ・材質や形状 ()	□1.損壊(倒壊・ブロック等の脱落・中詰め材の流出等) □2.変形(沈下・傾き・継ぎ目のずれ・はらみ出し等) □3.破損(ひび割れ・欠損・錆(腐食)等) □4.湧水 ※施設周辺の湧水の供給源 (不明・有:)	□異常なし □異常あり (箇所) 目視状況: □ほぼ全体が見える □部分的に見えず□見えず
	付 帯 施 設	②付帯施設 ・付帯施設の有無を確認 □あり(落石防護柵等) □あり(法尻水路等) □あり(水抜管等) □なし(見当たらない)	□1.損壊(倒壊・ブロック等の脱落・中詰め材の流出等) □2.変形(沈下・傾き・継ぎ目のずれ・はらみ出し等) □3.破損(ひび割れ・欠損・錆(腐食)等) □4.閉塞・埋没(法尻水路の土砂堆積等)
周 辺 状 況	③基礎地盤	□1.沈下・隆起	□異常なし □異常あり (箇所) 目視状況: □ほぼ全体が見える □部分的に見えず□見えず
	④周辺の状況	□1.施設背面の変状 (吸出し・陥没・侵食・湧水・崩落・押し出し・亀裂等) □2.構造物背面のすきま	□異常なし □異常あり (箇所) 目視状況: □ほぼ全体が見える □部分的に見えず□見えず
・各項目および周辺状況で気づいた点があれば、記入ください。(自由記入)		・施設全体の概略図を描き、異常のある位置を示してください。 (紙面不足の場合、別添 様式-2(2)に記載してください。)	

※位置図や写真は別添に記載してください

評価	1.追加調査が必要 2.補修が必要 3.点検を継続
<p>擁壁(枠)工の概略構造 ※形状や材質は色々な種類があります</p> <p>擁壁工は、法先の崩壊を防ぎ、地すべりの誘発を防ぐための施設です。地すべり土圧に直接耐え得るものではなく、地すべり末端斜面の法先が崩壊し、次々に上部まで移動するような場合に用いられます。</p>	

表 4.2.7 日常管理調査票施設管理者版様式 (1/2) 杭工

様式-2(1)

地すべり防止施設調査票(杭工) 日常管理調査票(1/2)

点検年月日	天候	点検者
諸元	区域名: _____	ブロック名: _____
	該当施設(施設番号): 杭工(_____)	施工年度: _____
対象項目 (☑をチェック)	異常が見られる項目 (☑をチェック)	結果 (☑をチェック)
杭工 ①本体 ・杭頭の目視確認の可否 ☐可 ☐否(見当たらない・不明) ※杭の地中部分については目視点検が困難であるため、杭頭と杭周辺の地盤との相対的な変状に着目する。	☐1.杭頭の配列の乱れ ☐2.杭の傾き ☐3.杭と地盤とのすきま ☐4.杭の抜け上がり ☐5.杭の突出または沈下	☐異常なし ☐異常あり (箇所) 目視状況: ☐ほぼ全体が見える ☐部分的に見えず☐見えず
付帯施設 ②付帯施設 (アンカー・頭部連結工・土留壁など) ・付帯施設の有無の確認 ☐あり(工種: _____) ☐なし(見当たらない)	☐1.アンカーの飛び出し(アンカー付杭の場合) ☐2.頭部連結工などの著しい損傷・腐食 ☐3.土留壁などの損傷	☐異常なし ☐異常あり (箇所) 目視状況: ☐ほぼ全体が見える ☐部分的に見えず☐見えず
周辺状況 ④周辺の状況 ※杭の地中部分については目視点検が困難であるため、施設周辺の地盤の変状にも着目する。	☐1.沈下・隆起・押し出し・亀裂 ☐2.湧水 ☐3.周辺斜面の崩落(小崩壊、中抜けなど)	☐異常なし ☐異常あり (箇所) 目視状況: ☐ほぼ全体が見える ☐部分的に見えず☐見えず
観測施設 (杭体及び周辺地盤の挙動を観測するための機器類等)	・観測施設の有無 ☐なし(見当たらない) ☐あり(種類: _____)	
・各項目および周辺状況で気づいた点があれば、記入ください。(自由記入)		・斜面全体の概略図を描き、斜面内の杭工の位置や配列とともに、異常のある位置を示してください。 (紙面不足の場合、別添 様式-2(2)に記載してください。)

※位置図や写真は別添に記載してください

評価	1.追加調査が必要	2.補修が必要	3.点検を継続
杭工の概略構造 ※形状や材質は色々な種類があります	杭工は、構造物の力学的強さによって地すべりの滑動に対する抵抗力の付加を図り、地すべりを直接抑止することを目的とした施設です。		

4.2.2.2 日常管理調査票巡視員版様式

本手引き(暫定版)で提案する点検様式を示す。

表 4.2.8 日常管理調査票巡視員版様式(1/2) 暗きよ工・明暗きよ工

様式-2(1) 地すべり防止施設調査票(暗きよ工・明暗きよ工) 日常管理調査票(1/2)

点検年月日	天候	点検者	
諸元	区域名:	ブロック名:	施工年度:
	該当施設(施設番号): 暗きよ工・明暗きよ工()		
対象項目(☑をチェック)	異常が見られる項目(☑をチェック)	結果(☑をチェック)	
<input type="checkbox"/> 暗きよ工 <input type="checkbox"/> 明暗きよ工	①暗きよ工 ・暗きよ工吐き口の有無を確認 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし(見当たらない)	<input type="checkbox"/> 1.排水量がない <input type="checkbox"/> 2.吐き口の明らかな目詰まり <input type="checkbox"/> 3.吐き口の变形・破損 <input type="checkbox"/> 4.吐き口の埋没	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり (箇所) 目視状況: <input type="checkbox"/> ほぼ全孔口全体が見える <input type="checkbox"/> 部分的に見えず <input type="checkbox"/> 見えず
	②排水路工 ・排水路工の有無を確認 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし(見当たらない)	<input type="checkbox"/> 1.变形・破損(目地切れ、ひび割れ、錆(腐食)等) <input type="checkbox"/> 2.閉塞・埋没(土砂、落葉等の堆積) <input type="checkbox"/> 3.流末の位置不明	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり (箇所) 目視状況: <input type="checkbox"/> ほぼ全体が見える <input type="checkbox"/> 部分的に見えず <input type="checkbox"/> 見えず
	③集水升工・落差工 ・集水升工、落差工の有無を確認 <input type="checkbox"/> あり(集水升工) <input type="checkbox"/> あり(落差工) <input type="checkbox"/> なし(見当たらない)	<input type="checkbox"/> 1.变形・破損(目地切れ、ひび割れ等) <input type="checkbox"/> 2.閉塞・埋没(土砂、落葉等の堆積)	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり (箇所) 目視状況: <input type="checkbox"/> ほぼ全体が見える <input type="checkbox"/> 部分的に見えず <input type="checkbox"/> 見えず
<input type="checkbox"/> 周辺状況	<input type="checkbox"/> 1.地表の変状 (沈下・隆起・洗掘・流出・崩落・押し出し・吸出し・亀裂等) <input type="checkbox"/> 2.湿地の形成(水たまり・湧水等)	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり (箇所) 目視状況: <input type="checkbox"/> ほぼ全体が見える <input type="checkbox"/> 部分的に見えず <input type="checkbox"/> 見えず	
・各項目および周辺状況で気づいた点があれば、記入ください(自由記入)		・暗きよ工・明暗きよ工の路線全体の概略図を描き、異常のある位置を示してください。(紙面不足の場合、別添 様式-2(2)に記載してください。)	

※位置図や写真は別添に記載してください

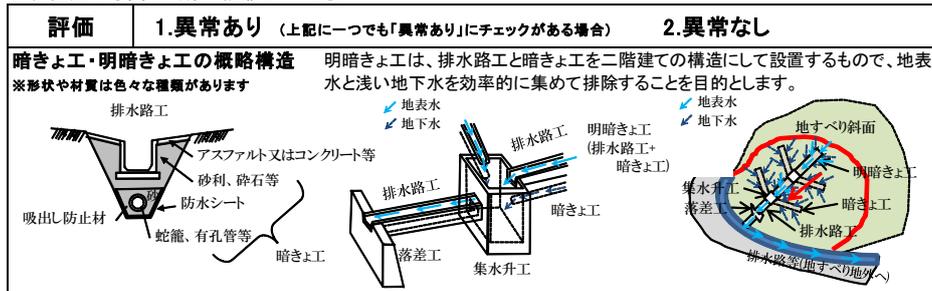


表 4.2.9 日常管理調査票巡視員版様式 (2/2) 暗きょ工・明暗きょ工

様式-2(2)

位置図・写真(自由書式) 日常管理調査票(2/2)

点検年月日	天候	点検者
諸 元	区域名:	ブロック名:
	該当施設(施設番号): 暗きょ工・明暗きょ工()	

(※2/2 の自由書式欄は以降の工種も同形式のため以下省略)

表 4.2.10 日常管理調査票巡視員版様式 (1/2) 渓流護岸工

様式-2(1) 地すべり防止施設調査票(渓流護岸工) 日常管理調査票(1/2)

点検年月日	天候	点検者	
諸元	区域名: _____	ブロック名: _____	施工年度: _____
該当施設(施設番号): 渓流護岸工(_____)			
対象項目(☑をチェック)	異常が見られる項目(☑をチェック)	結果(☑をチェック)	
①側壁護岸工 ・側壁護岸工の有無を確認 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし(見当たらない) ・種類を選んでください。 <input type="checkbox"/> コンクリート <input type="checkbox"/> 籠枠等(_____) <input type="checkbox"/> 不明 ・材質や形状 (_____)	<input type="checkbox"/> 1.損壊(倒壊・ブロック等の脱落・中詰め材の流出等) <input type="checkbox"/> 2.変形(沈下・傾き・継ぎ目のずれ・はらみ出し等) <input type="checkbox"/> 3.破損(ひび割れ・摩耗・欠損・錆(腐食)等) <input type="checkbox"/> 4.洗掘(側壁護岸工の基礎地盤付近)	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり (_____ 箇所) 目視状況: <input type="checkbox"/> ほぼ全体が見える <input type="checkbox"/> 部分的に見えず <input type="checkbox"/> 見えず	
	②床固め工 ・床固め工の有無を確認 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし(見当たらない) ・種類を選んでください。 <input type="checkbox"/> コンクリート <input type="checkbox"/> 籠枠等(_____) <input type="checkbox"/> 不明 ・材質や形状 (_____)	<input type="checkbox"/> 1.損壊(倒壊・ブロック等の脱落・中詰め材の流出等) <input type="checkbox"/> 2.変形(沈下・傾き・継ぎ目のずれ・はらみ出し等) <input type="checkbox"/> 3.破損(ひび割れ・摩耗・欠損・錆(腐食)等) <input type="checkbox"/> 4.洗掘(側壁護岸工の基礎地盤付近)	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり (_____ 箇所) 目視状況: <input type="checkbox"/> ほぼ全体が見える <input type="checkbox"/> 部分的に見えず <input type="checkbox"/> 見えず
周辺状況	③基礎地盤 <input type="checkbox"/> 1.沈下・隆起 <input type="checkbox"/> 2.洗掘	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり (_____ 箇所) 目視状況: <input type="checkbox"/> ほぼ全体が見える <input type="checkbox"/> 部分的に見えず <input type="checkbox"/> 見えず	
	④周辺の状況 <input type="checkbox"/> 1.施設背面の変状 (吸出し・陥没・侵食・湧水・崩落・押し出し・亀裂等) <input type="checkbox"/> 2.構造物背面のすきま	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり (_____ 箇所) 目視状況: <input type="checkbox"/> ほぼ全体が見える <input type="checkbox"/> 部分的に見えず <input type="checkbox"/> 見えず	
・各項目および周辺状況で気づいた点があれば、記入ください(自由記入)		・施設全体の概略図を描き、異常のある位置を示してください。 (紙面不足の場合、別添 様式-2(2)に記載してください。)	

※位置図や写真は別添に記載してください

評価	1.異常あり (上記に一つでも「異常あり」にチェックがある場合)	2.異常なし
渓流護岸工の概略構造 ※形状や材質は色々な種類があります	渓流護岸工は、側方侵食の激しい溪流などにより地すべり末端部や側方が侵食されている場合に、その侵食を防止する目的で施工される施設です。	

表 4.2.11 日常管理調査票巡視員版様式 (1/2) 堰堤工

様式-1(1)

地すべり防止施設調査票(堰堤工) 日常管理調査票(1/2)

点検年月日	天候	点検者	
諸元	区域名:	ブロック名:	施工年度:
元	該当施設(施設番号): 堰堤工()		
対象項目(☑をチェック)	異常が見られる項目(☑をチェック)	結果(☑をチェック)	
堰堤工	①本体・袖 (本堤、副堤、垂直壁を含む) ・堰堤工の有無を確認 □あり □なし(見当たらない) ・種類を選んでください。 □コンクリート □鋼製枠 ・材質や形状 ()	□1.損壊(倒壊・中詰め材の流出等) □2.変形(沈下・傾き・継ぎ目のずれ・はらみ出し等) □3.破損(ひび割れ・天端の摩耗・欠損・錆(腐食)等) □4.漏水	□異常なし □異常あり (箇所) 目視状況: □ほぼ全体が見える □部分的に見えず□見えず
	②側壁護岸 ・側壁護岸の有無を確認 □あり □なし(見当たらない)	□1.損壊(倒壊・ブロック等の脱落・中詰め材の流出等) □2.変形(沈下・傾き・継ぎ目のずれ・はらみ出し等) □3.破損(ひび割れ・摩耗・欠損・錆(腐食)等)	□異常なし □異常あり (箇所) 目視状況: □ほぼ全体が見える □部分的に見えず□見えず
	③水叩き ・水叩きの有無を確認 □あり □なし(見当たらない)	□1.摩耗 □2.ひび割れ	□異常なし □異常あり (箇所) 目視状況: □ほぼ全体が見える □部分的に見えず□見えず
周辺状況	④本体周辺状況	□1.基礎地盤の洗掘 □2.袖部の侵食・崩壊	□異常なし □異常あり (箇所) 目視状況: □ほぼ全体が見える □部分的に見えず□見えず
	⑤側壁護岸周辺状況	□1.基礎地盤の洗掘 □2.施設背面の変状(吸出し・陥没・浸食・湧水等) □3.構造物背面のすきま	□異常なし □異常あり (箇所) 目視状況: □ほぼ全体が見える □部分的に見えず□見えず
・堰堤工上流側の堆砂状況: 満砂 / 未満砂 (未満砂の場合、もしくは、その他気づいたことがあれば、堆砂状況について記入してください)			
・各項目および周辺状況で気づいた点があれば記入ください(自由記入)		・施設全体の概略図を描き、異常のある位置を示してください。 (紙面不足の場合、別添 様式-2(2)に記載してください。)	

※位置図や写真は別添に記載してください

評価	1.異常あり (上記に一つでも「異常あり」にチェックがある場合)	2.異常なし
堰堤工の概略構造 ※形状や材質は色々な種類があります	堰堤工は、渓流内に設置され、堆砂によって地すべり末端部の侵食防止と地すべりに対する押え盛土工の役を果たす施設です。	

表 4.2.13 日常管理調査票巡視員版様式 (1/2) 擁壁(枠)工

様式-2(1) 地すべり防止施設調査票(擁壁(枠)工) 日常管理調査票(1/2)

点検年月日		天候	点検者
諸元	区域名:	ブロック名:	施工年度:
該当施設(施設番号): 擁壁(枠)工()			
対象項目 (☑をチェック)		異常が見られる項目 (☑をチェック)	結果 (☑をチェック)
擁壁(枠)工	①本体 ・擁壁(枠)工の有無を確認 □あり □なし(見当たらない) ・種類を選んでください。 □コンクリート擁壁工 (コンクリートブロック積みを含む) □枠工() □不明 ・材質や形状 ()	□1.損壊(倒壊・ブロック等の脱落・中詰め材の流出等) □2.変形(沈下・傾き・継ぎ目のずれ・はらみ出し等) □3.破損(ひび割れ・欠損・錆(腐食)等) □4.湧水 ※施設周辺の湧水の供給源 (不明・有:)	□異常なし □異常あり (箇所) 目視状況: □ほぼ全体が見える □部分的に見えず□見えず
	付帯施設 ・付帯施設の有無を確認 □あり(落石防護柵等) □あり(法尻水路等) □あり(水抜管等) □なし(見当たらない)	□1.損壊(倒壊・ブロック等の脱落・中詰め材の流出等) □2.変形(沈下・傾き・継ぎ目のずれ・はらみ出し等) □3.破損(ひび割れ・欠損・錆(腐食)等) □4.閉塞・埋没(法尻水路の土砂堆積等)	□異常なし □異常あり (箇所) 目視状況: □ほぼ全体が見える □部分的に見えず□見えず
周辺状況	③基礎地盤	□1.沈下・隆起	□異常なし □異常あり (箇所) 目視状況: □ほぼ全体が見える □部分的に見えず□見えず
	④周辺の状況	□1.施設背面の変状 (吸出し・陥没・侵食・湧水・崩落・押し出し・亀裂等) □2.構造物背面のすきま	□異常なし □異常あり (箇所) 目視状況: □ほぼ全体が見える □部分的に見えず□見えず
・各項目および周辺状況で気づいた点があれば、記入ください。(自由記入)		・施設全体の概略図を描き、異常のある位置を示してください。 (紙面不足の場合、別添 様式-2(2)に記載してください。)	

※位置図や写真は別添に記載してください

評価	1.異常あり (上記に一つでも「異常あり」にチェックがある場合)	2.異常なし
<p>擁壁(枠)工の概略構造 ※形状や材質は色々な種類があります</p> <p>擁壁工は、法先の崩壊を防ぎ、地すべりの誘発を防ぐための施設です。地すべり土圧に直接耐え得るものではなく、地すべり末端斜面の法先が崩壊し、次々に上部まで移動するような場合に用いられます。</p>		

表 4.2.14 日常管理調査票巡視員版様式 (1/2) 杭工

様式-2(1)

地すべり防止施設調査票(杭工) 日常管理調査票(1/2)

点検年月日	天候	点検者
諸元	区域名: _____	ブロック名: _____
	該当施設(施設番号): 杭工(_____)	施工年度: _____
対象項目 (☑をチェック)	異常が見られる項目 (☑をチェック)	結果 (☑をチェック)
杭工 ①本体 ・杭頭の目視確認の可否 □可 □否(見当たらない・不明) ※杭の地中部分については目視点検が困難であるため、杭頭と杭周辺の地盤との相対的な変状に着目する。	□1.杭頭の配列の乱れ □2.杭の傾き □3.杭と地盤とのすきま □4.杭の抜け上がり □5.杭の突出または沈下	□異常なし □異常あり (箇所) 目視状況: □ほぼ全体が見える □部分的に見えず□見えず
付帯施設 ②付帯施設 (アンカー・頭部連結工・土留壁など) ・付帯施設の有無の確認 □あり(工種: _____) □なし(見当たらない)	□1.アンカーの飛び出し(アンカー付杭の場合) □2.頭部連結工などの著しい損傷・腐食 □3.土留壁などの損傷	□異常なし □異常あり (箇所) 目視状況: □ほぼ全体が見える □部分的に見えず□見えず
周辺状況 ④周辺の状況 ※杭の地中部分については目視点検が困難であるため、施設周辺の地盤の変状にも着目する。	□1.沈下・隆起・押し出し・亀裂 □2.湧水 □3.周辺斜面の崩落(小崩壊、中抜けなど)	□異常なし □異常あり (箇所) 目視状況: □ほぼ全体が見える □部分的に見えず□見えず
観測施設 (杭体及び周辺地盤の挙動を観測するための機器類等)	・観測施設の有無 □なし(見当たらない) □あり(種類: _____)	
・各項目および周辺状況で気づいた点があれば、記入ください。(自由記入)		・斜面全体の概略図を描き、斜面内の杭工の位置や配列とともに、異常のある位置を示してください。 (紙面不足の場合、別添 様式-2(2)に記載してください。)

※位置図や写真は別添に記載してください

評価	1.異常あり (上記に一つでも「異常あり」にチェックがある場合)	2.異常なし
杭工の概略構造 ※形状や材質は色々な種類があります	杭工は、構造物の力学的強さによって地すべりの滑動に対する抵抗力の付加を図り、地すべりを直接抑止することを目的とした施設です。	